

2025年度 事業計画書

自 2025年7月 1日

至 2026年6月30日

公益社団法人SVリーグ

〔 目 次 〕

1 はじめに PAGE 2

(1) 2024 年度総括

(2) 基本方針

(3) 重点施策

2 事業計画 PAGE 3

(1) 体制

(2) 主要活動

(3) 重点施策への対応：各論

(4) 予算

1 はじめに

(1) 2024 年度総括

2024 年 10 月 11 日（金）東京体育館（東京都渋谷区）で開催した大阪ブルテオン vs サントリーサンバーズ大阪戦を皮切りに、「2030 年までに世界最高峰を目指す SV.LEAGUE」が開幕。男女トップリーグにふさわしい格調高く優雅なオープニングセレモニーの後に、青と赤のユニフォームを身にまとう選手の白熱した戦いが繰り広げられ、厳かにも華々しくかつ晴れやかに「バレーボール新時代」を迎えた。

約 7 ヶ月間の戦いを経て、WOMEN レギュラーシーズン 1 位は大阪マーヴェラス、MEN レギュラーシーズン 1 位は大阪ブルテオン、WOMEN チャンピオンシップ優勝は大阪マーヴェラス、MEN チャンピオンシップ優勝はサントリーサンバーズ大阪がそれぞれ獲得し、2024-25 シーズンを終了した。

「ハイキュー!!」の世界的な人気や日本代表の活躍もあって SV.LEAGUE には各国代表選手が多数集まり、どの試合もハイレベルで見どころ満載となったことから、2024-25 シーズンの総入場者数は昨シーズン比 2 倍超と大幅増の 1,122,710 人を記録した。特に MEN は、1 年目にして総入場者数、平均入場者数ともにイタリア Serie A やポーランド Plus Liga の同シーズンの記録を超えた。

2025 年度は、SV.LEAGUE 2 シーズン目として引き続き積極的な意識改革を進め、加盟クラブの活動を支援し、各ホームタウンとの連携を更に強めて、選手の躍動とファンの熱狂を追求していきたい。

(2) 基本方針

- 🌀 ミッションである「強く・広く・社会とつなぐ」を実践して SV.LEAGUE が社会課題に貢献する
- 🌀 ビジョンである「世界最高峰リーグ」の実現に向け SV.LEAGUE の更なる深化を進める

(3) 重点施策

- 🌀 入場者数の増加とプロモーションの強化
- 🌀 国際化推進
- 🌀 社会連携活動の拡充
- 🌀 リーグの裾野拡大
- 🌀 公益財団法人日本バレーボール協会（JVA）との協働

2 事業計画

(1) 体制（2025 年 7 月 1 日現在）

①SV.LEAGUE 加盟クラブ（クラブ SV ライセンス交付）：24 クラブ

WOMEN

法人名称	チーム名	呼称	取りまとめ役となる自治体	活動区域	ホームアリーナ
株式会社プレステージ・インターナショナル	プレステージ・インターナショナル アランマーレ山形	アランマーレ山形	天童市	山形県	山形県総合運動公園総合体育館
株式会社デンソー	福島デンソーエアービーズ	デンソーエアービーズ	郡山市	福島県	宝来屋 ポンズアリーナ
Astemo 株式会社	Astemo リヴァーレ茨城	Astemo リヴァーレ茨城	ひたちなか市	茨城県	ひたちなか市総合運動公園総合体育館
一般社団法人グリーンウイングス GUNMA	群馬グリーンウイングス	群馬グリーンウイングス	前橋市	群馬県	ヤマト市民体育館前橋
株式会社埼玉上尾メディックス	埼玉上尾メディックス	埼玉上尾メディックス	上尾市	埼玉県	埼玉県立武道館
日本電気株式会社	NECレッドロケッツ川崎	NECレッドロケッツ川崎	川崎市	神奈川県	東急ドレッセとどろきアリーナ
一般社団法人KUROBEアクアフェアリーズ	KUROBEアクアフェアリーズ富山	KUROBEアクアフェアリーズ	黒部市	富山県	黒部市総合体育センター
PFU ライフエージェンシー株式会社	PFU ブルーキャッツ石川かほく	PFU ブルーキャッツ石川かほく	かほく市	石川県	とり野菜みそBLUECATS ARENA
トヨタ車体株式会社	トヨタ車体クインシーズ刈谷	クインシーズ刈谷	刈谷市	愛知県	ウイングアリーナ刈谷
東レアローズ株式会社	東レアローズバレーボールクラブ滋賀	東レアローズ滋賀	大津市	滋賀県	滋賀ダイハツアリーナ
日本たばこ産業株式会社	大阪マーヴェラス	大阪マーヴェラス	大阪市	大阪府	Asue アリーナ大阪
株式会社姫路ヴィクトリーナ	ヴィクトリーナ姫路	ヴィクトリーナ姫路	姫路市	兵庫県	ヴィクトリーナ・ウイंक体育館
岡山シーガルズ株式会社	岡山シーガルズ	岡山シーガルズ	岡山市	岡山県	ジップアリーナ岡山
SAGA久光スプリングス株式会社	佐賀久光スプリングス	SAGA 久光スプリングス	鳥栖市	佐賀県	SAGA アリーナ

MEN

法人名称	チーム名	呼称	取りまとめ役となる自治体	活動区域	ホームアリーナ
株式会社 VOREAS	ヴォレアス北海道	ヴォレアス北海道	旭川市	北海道	リクルートスタッフイングリック&スー旭川体育館
株式会社グレートベアーズ	東京グレートベアーズ	東京グレートベアーズ	渋谷区	東京都	国立代々木競技場第二体育館
株式会社 VC 長野クリエイトスポーツ	VC 長野トライデント	VC 長野トライデント	松本市	長野県	エア・ウォーターアリーナ松本
東レアローズ株式会社	東レアローズバレーボールクラブ静岡	東レアローズ静岡	三島市	静岡県	三島市民体育館
株式会社ジェイテクト	ジェイテクト STINGS 愛知	ジェイテクト STINGS 愛知	岡崎市	愛知県	岡崎中央総合公園総合体育館
TG SPORTS 株式会社	ウルフドッグス名古屋	ウルフドッグス名古屋	稲沢市	愛知県	エントリオ
パナソニック スポーツ株式会社	大阪ブルテオン	大阪ブルテオン	枚方市	大阪府	パナソニックアリーナ
サントリーホールディングス株式会社	サントリーサンパーズ大阪	サントリーサンパーズ大阪	大阪市	大阪府	Asue アリーナ大阪
株式会社ブレイザーズスポーツクラブ	日本製鉄堺ブレイザーズ	日本製鉄堺ブレイザーズ	堺市	大阪府	大浜だいしんアリーナ
日本たばこ産業株式会社	広島サンダーズ	広島サンダーズ	広島市	広島県	広島グリーンアリーナ

②SV 準加盟クラブ：5 クラブ

- WOMEN ルートインジャパン株式会社、株式会社プレス浜松
- MEN 株式会社北海道イエロースターズ、株式会社 Reve's、株式会社クボタ

③役員（任期：自 2024 年 9 月 30 日 至 2026 年 9 月 30 日）：理事 9 名、監事 2 名

役職名	氏名	勤務形態	他法人の所属状況
代表理事 チェアマン	大河 正明	常勤	(一社)ジャパンバレーボールリーグ (JVL) 代表理事 CEO
業務執行理事	江川 剛司	準常勤	(株)仙台 89ERS 取締役 経営企画室長
理事	荒木 絵里香	非常勤	トヨタ車体(株) チームコーディネーター
理事	金川 裕一	非常勤	(公財)日本バレーボール協会 理事副会長

理事	刈屋 富士雄	非常勤	(株)立飛ホールディングス 執行役員
理事	久保田 剛	非常勤	パナソニックスポーツ(株)代表取締役社長
理事	杉山 明美	非常勤	(株)クリスタル・SUGIYAMA AKEMI 代表取締役
理事	高田 春奈	非常勤	(株)エスプリングホールディングス 代表取締役社長
理事	玉上 進一	非常勤	(株)プレステージ・インターナショナル代表取締役
監事	中村 克己	非常勤	国広総合法律事務所パートナー弁護士
監事	矢野 奈保子	非常勤	矢野公認会計士事務所 代表 公認会計士

④事務局職員数 32 名（うち常勤 32 名）

※他団体からの出向者および他団体との兼務者を含む、当年度中に若干名の新規採用を予定

(2) 主要活動

①WOMEN/MEN SV.LEAGUE 公式試合の主催

- レギュラーシーズン 合計 528 試合（男子 220 試合、女子 308 試合）
WOMEN（14 クラブ） 2025 年 10 月 10 日～2026 年 4 月 5 日（予定）
MEN（10 クラブ） 2025 年 10 月 24 日～2026 年 4 月 19 日（予定）
- チャンピオンシップ 最小 24 試合～最大 36 試合（2 勝先勝方式）
WOMEN（8 クラブ） 2026 年 4 月 11 日～2026 年 5 月 3 日（予定）
MEN（6 クラブ） 2026 年 4 月 25 日～2026 年 5 月 17 日（予定）
- オールスターゲーム
日程 2026 年 1 月 31 日および 2 月 1 日（男女各 1 試合）
会場 GLION ARENA KOBE（兵庫県神戸市）

②SV.LEAGUE AWARDS（2025-26 シーズン表彰式）

日程 2026 年 5 月中旬以降
会場 未定

③SV.LEAGUE U-15 選手権大会の主催

【女子予選】

日程 2025 年 10 月 4 日～10 月 5 日

会場 船橋アリーナ（千葉県船橋市）

【男子予選】

日程 2025 年 10 月 11 日～10 月 12 日

会場 日硝ハイウエーアリーナ（サオリーナ）（三重県津市）

【決 勝】

日程 2025 年 11 月 15 日～11 月 16 日

会場 パナソニックアリーナ（大阪府枚方市）

④SV.LEAGUE World Tour in Thailand の共催（国際交流事業）

※前年度までクラブ主催で開催していた「エナジーカップ」を共催方式に変更

日程 2025 年 9 月 13 日～2025 年 9 月 14 日

会場 未定

参加予定クラブ 大阪ブルテオン、東レアローズ静岡、

ナコンラチャシマバレーボールクラブキャットデビル、ダイヤモンドフードファインシェフ

⑤2026-27 シーズン クラブライセンスの交付

申請期日 2025 年 11 月 30 日

交付日 2026 年 4 月（予定）

⑥SV 準加盟クラブの認定

⑦明日夢プロジェクト

日程 2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日 20 回程度開催予定

⑧新人選手研修（対象：2026-27 シーズン新人および過年度新人で未受講の選手）

日程 2026 年 6 月中旬（予定）

(3) 重点施策への対応：各論

①入場者数の増加とプロモーションの強化

- チケット V やファンクラブ会員の統合データベースを活用したマーケティングの高度化
- SV.LEAGUE ブランドの露出と認知拡大をすべく、メディアへのプロモートや各種 SNS 等による情報発信の強化
- 新規層・ライト層の取り込みを狙いとした SV.LEAGUE に関わる試合・ニュース等の放送機会増加

- 訴求先ターゲットを絞った効果的なタイアップイベントの企画立案

②国際化推進

- SV.LEAGUE World Tour in Thailand の開催を通じた海外での競技会運営対応力の強化
- 欧米リーグとの交流機会の増加による国際バレーボール連盟（FIVB）やアジアバレーボール連盟（AVC）を含めた国際影響力の強化
- 新たな映像提供プラットフォームの開発による海外配信を含めた情報発信の増加

③社会連携活動の拡充

- パートナー企業との共創による地域共生を指向したアクティベーション
- 各加盟クラブの社会連携活動の質と量のアップ、および活動状況の適時適切な発信
- 明日夢プロジェクトを主体としたバレーボール普及啓発活動の推進、ならびに国民の心身の健全な発達への寄与

④リーグの裾野拡大

- SV.LEAGUE の下部リーグとして「SV.LEAGUE GROWTH」を新設、世界最高峰リーグ達成に向けた基礎固め
- 2026-27 シーズンからの SV.LEAGUE GROWTH 開幕準備として、クラブ SVG ライセンスの新設および審査の実施
- クラブライセンス制度を通じた各加盟クラブのサステナブルな発展

⑤JVA との協働：育成、指導者、審判

- ユース世代の育成方針策定、ならびに各加盟クラブにおける育成部門の取り組み強化
- SV.LEAGUE U-15 選手権大会を通じた実戦環境の提供と選手・指導者の育成
- JVA との協働によるレフェリー運営体制の改革着手

⑥その他

- WOMEN 加盟クラブの集客・地域活動活性化の推進支援
- バレーボールを主たる事業とする株式会社化（クラブのプロ化）に向けたフォロー
- 2030-31 シーズンクラブライセンス要件を充足するホームアリーナの確保と自治体へのアプローチ
- 選手向研修の更なる充実と職員向研修の開始
- 選手会創設に向けたサポートと選手とのコミュニケーション強化
- 社会課題や企業課題の解決を目的としたパートナーの開拓
- より多くの人々に公式試合の映像を提供すべく放送配信事業の強化
- 事務局 DX 化（ワークフローシステム導入、経理システムレベルアップ、他）

(4) 予算

①経常増減（単位 百万円）

科 目		2025 年度（予算）
	受取会費	485
	受取入会金	0
	事業収益	2,525
	受取助成金	53
	雑収益	27
経常収益計		3,090
	事業費	2,602
	管理費	573
経常費用計		3,175
当期経常増減額		▲85

②正味財産（単位 百万円）

科 目	2025 年度（予算）	前年度比
当期経常増減額	▲85	▲254
当期一般正味財産増減額	▲85	▲246
正味財産期末残高	76	▲85

- 前年度は新リーグ編成による入会金、契約初年度に傾斜した協賛金、および「バレーボールアジアチャンピオンズリーグ男子ジャパン 2025（ACL）」開催に伴う収入等の特別要因があったが、当年度は特に予定なく、経常収入は 3,090 百万円（前年度比▲252 百万円）
- 一方当年度は新リーグスタート関連費用や ACL 運営費用がないものの、事務局体制強化費（人件費、交通費等）、システム開発投資の減価償却、WOMEN/MEN チャンピオンシップ開催時期ずれ（FIVB 年間競技カレンダーによるもの）から発生する経費増が見込まれ、経常費用 3,175 百万円（前年度比+2 百万円）となり、経常増減は▲85 百万円（前年度比▲254 百万円）
- 上記を受けて、正味財産期末残高は 76 百万円（前年度比▲85 百万円）

以 上